

第 61 回筑後小児科医会総会 議事録

日 時：2025 年 5 月 23 日金曜日 午後 7 時 00 分

場 所：久留米医師会館 教室 1

参加人数：27 名

1. 会長挨拶

2. 議長選出

会場出席者からの自薦他薦はなく、全役員会から本間真一先生を推薦し、賛成多数により本間真一先生が議長に選出された。

まず初めに 2024 年度中に逝去された牛島繁先生に対して黙祷を行った。

3. 報告事項

①庶務報告：一ノ瀬常任幹事（庶務）より報告を行なった。（資料 1）

②学術報告：田中常任幹事（学術）より報告を行なった。（資料 2）

4. 審議事項

①2024 年度会計決算報告：寺町常任幹事（会計）より報告を行なった。（資料 3）

②2024 年度会計監査報告：村上監事 より報告を行なった。

会場より質問等なし ①②に関して賛成多数により可決。

③会費、会員区分の見直しについて（資料４）

長井会長より、当会の財政状況や今後のシミュレーションを基に、現状の会費では数年後には赤字になることが予想される旨の説明があり、会費の値上げや会員区分の見直しを行う提案がなされた。合わせて、小児科医だけではなく小児診療をされている先生や病院勤務の先生方にも広く会員になってもらえるように、入会条件として福岡県小児科医会と九州小児科医会への入会を必須としていたものを選択制に変更する旨も提案があった。会費の変更に関しては、参加者多数の賛成があり承認された。内規の変更や入会申込書の変更に関しては、すでに全役員会にて承認を得ており、変更を進めていくこととした。

また、会費の変更は 2025 年度より適用されることを長井会長より説明があった。

④2025 年度会計予算案審議：寺町常任幹事（会計）より新しい会費による予算案が提案され、参加者多数より承認を得た。（資料３）

5. その他

長井会長より、今年度の福岡県小児科医会報のテーマが学校健診となっており、各ブロックへ原稿の依頼があったこと、当地区の状況を執筆するため、健診を行う際に聴診を着衣のまま行うか等アンケート調査（メールで送付）を、6 月に入って行うことが説明された。

資料 1

庶務報告

2024 年度

1) 会員の動向 (2024 年 4 月～2025 年 3 月)

新入会者：中村 舞先生 (朝倉)、木附京子先生 (八女・筑後)、
棚成嘉文先生 (大牟田)

逝去退会：牛島 繁先生 (浮羽) 2024 年 6 月 3 日 享年 97 歳

退 会： なし

会 員 数 (2025 年 3 月 31 日)：正会員 A：77 名 会費免除会員 B：10 名 合計 87 名

2) 筑後小児科医会常任幹事会 (毎月第一火曜日開催、5 月・8 月・12 月は休会)

3) 2024 年度の主な活動

筑後小児科医会セミナー開催 (7 回)

久留米小児科医会・聖マリア病院 P C C 合同開催 (2 回)

筑後小児科医会たより (毎月) の発行

久留米広域小児救急医療体制整備事業への協力

役員会、委員会出務

日本小児科学会福岡地方会役員会 3 回 (ウェブ開催)

日本小児科学会福岡地方会プログラム委員会 3 回 (ウェブ開催)

日本小児科学会九州地区資格認定委員会 1 回 (ウェブ開催)

福岡県小児科医会 会長・副会長会 2 回 (ウェブ開催、現地)

福岡県小児科医会 役員会 2 回 (ウェブ開催)

福岡県小児科医会 役員研修会 1 回 (現地開催)

福岡県小児科医会 会報編集委員会 1 回 (現地)

九州学校保健学会 評議員会 1 回 (ウェブ開催)

九州小児科医会 役員会・理事会 1 回 (現地開催)

久留米広域小児救急運営委員会 2 回 (現地)

福岡県小児等在宅医療推進事業 筑後地区 1 回 (現地開催)

4) 常任幹事の役割分担 (※責任者)

庶務：幹事会運営、会員連絡

※一ノ瀬英史 (事務局)

渉外：対外交渉など

※津村直幹

学術：セミナー企画、準備

※田中悠平、工藤嘉公、

会報：会報発行、県小児科医報編集

※杉村 徹、工藤嘉公、一ノ瀬英史

情報：情報配信、メーリングリスト管理

※一ノ瀬英史

広報：たより発行 (毎月) など

※二宮正幸

会計：福岡県、九州小児科医会会計

※藤野 浩

筑後小児科医会一般会計

※寺町麻利子

5) 対外活動

日本小児科学会代議員（長井） 日本小児科学会九州地区資格認定委員（長井）

日本小児科学会福岡地方会幹事（津村） 地方会プログラム委員（田中）

九州小児科医会理事（長井） 九州学校保健学会評議員（木村）

福岡県小児科医会副会長（長井） 同理事（長井、津村、一ノ瀬）

福岡県小児科医会会報編集委員（一ノ瀬）

久留米広域小児救急運営委員会委員長（津村） 同委員（長井）

福岡県小児等在宅医療推進事業 筑後地区会長（一ノ瀬） 同委員（藤野、工藤）

資料 2

筑後小児科医学会学術実績(2024 年度)

筑後小児科医学会セミナー

第 229 回 2024 年 4 月 10 日(久留米シティプラザ/Web、現地 23 名/Web 14 名)(CC:11)

特別講演「小児における肺炎球菌ワクチンの新たな選択肢」

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 展開医療科学 小児科学教授 森内 浩幸 先生

第 230 回 2024 年 5 月 23 日(久留米医師会館、出席 31 名)(CC:8)

特別講演「わが国における輸入感染症の現状と課題」

久留米大学医学部 感染制御学講座 講師 後藤 憲志 先生

第 231 回 2024 年 6 月 12 日(久留米シティプラザ/Web、現地 13 名/Web 16 名)(CC:9)

特別講演「予防接種制度の動向と予防接種に関する最近の話題」

福岡市立こども病院 総合診療科 科長 保科 隆之 先生

第 232 回 2024 年 8 月 8 日(久留米シティプラザ/ウェブ、現地 10 名/Web 13 名)(CC:83)

特別講演「感冒(COVID-19 の諸症状含む)に用いる漢方薬」

日本東洋医学会作成「非漢方専門医向け簡易フローチャートの解説」

久留米大学医療センター小児科/先進漢方治療センター 助教 田中 聡子 先生

第 233 回 2024 年 9 月 26 日(ホテルマリターレ創世/Web、出席 34 名/13 名)(CC:11)

特別講演「予防接種の間違い防止のために各クリニックで必要な手順 どこをどのように変えるべきか？」

崎山小児科 院長 崎山 弘 先生

第 234 回 2024 年 10 月 23 日(ホテルマリターレ創世/Web、出席 11 名/15 名)(CC:26)

特別講演「明日からアトピーを診るのが楽しみになる話」

近畿大学医学部 小児科学教室 講師 竹村 豊 先生

第 235 回 2024 年 11 月 28 日(久留米シティプラザ/Web、出席 17 名/12 名)(CC:26)

特別講演「NO MORE アトピー性皮膚炎 デュピルマブへの期待」

飯塚病院 小児科 部長 岡松 由記 先生

久留米小児科医学会聖マリア病院小児科クリニカルカンファランス(PCC)

第 294 回 2024 年 6 月 27 日(木)(聖マリア病院/ウェブ:ハイブリッド開催)

1)川崎病に伴い急性虫垂炎所見を認めた 4 歳男児

高木孝平、佐藤美晴

2)急性巣状細菌性腎炎で当院紹介になり腎膿瘍への進行を認めた4歳女児

吉村夢、甲斐蘭七

3) 消化器症状を認め当院を受診し劇症型心筋炎と診断した 10 歳男児

大川真弥、山口璃紗

4) 急性壊死性脳症を認めた 3 歳女児

大原健太郎、山木勇人

第 295 回 2024 年 10 月 24 日 (木) (聖マリア病院/ウェブ:ハイブリッド開催)

1) マイコプラズマ肺炎入院加療中に数時間にわたりけいれん群発、重積を認めた 4 歳女児

西田大輝、高木健太郎

2) マイコプラズマ感染に伴い Stevens Johnson 症候群を認めた 10 歳男児

石和望愛、山口璃紗

3) 発熱、下腹部痛を認め OHVIRA 症候群 (片腎欠損、重複子宮) と診断した 12 歳女児

池田龍平、山木勇人

4) 整形外科で股関節脱臼疑われていたが、血友病と診断した 7 か月男児

森山朔太郎、佐藤美晴

資料 3

筑後小児科医会 2024 年度決算報告

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

並びに 2025 年度予算案(会費改訂後)

	2024 年度予算案	2024 年度決算		2025 年度予算案
収入の部			附記	
繰越金	1,361,716	1,361,716		933,875
会費	750,000	770,000	77 名	1,520,000
企業協賛金	280,000	340,000	17 社	0
預金利息	11	678		11
合計	2,391,727	2,472,394		2,453,886

支出の部			附記	
【事業費】				
講師謝礼(宿泊代含)	300,000	163,940	セミナー後藤先生謝礼・接待費 5 回、県 総会小枝先生謝礼・懇親会補助費	400,000
会場費	200,000	51,095	5/28 セミナー	300,000
役員会費	250,000	226,681	役員交通費、役員会弁当代(36,681 円)	250,000
会報発行費	800,000	715,136	会報誌発行費(682,066 円)、謝礼・郵送 費(33,070 円)	0
カンファランス費	120,000	40,000	聖マリア 2 回	120,000
HP 開設準備・維持費	60,000	47,802	保守維持費	60,000
合計・①	1,730,000	1,244,654		1,130,000
【事務費】				
通信費	100,000	100,000	久大小児科医局通信費(100,000 円)	100,000
印刷費	70,000	70,000	事務局連絡印刷費	70,000
消耗品費	6,000	2,180	郵送費(915 円)、雑費(1,265 円)	6,000
銀行手数料等	5,000	3,685		5,000
合計・②	181,000	175,865		181,000
【役員出張補助金】	60,000	48,000	3,000 円×16 回分	60,000
【慶弔費】	30,000	20,000	赤ひげ大賞受賞お祝い(北野明子先生)	30,000
【学会寄付】	0	50,000	日本子ども虐待医学会寄付	0

【予備費】	390,727			1,052,886
合計・③	480,727	118,000		1,142,886
支出合計(①+②+③)	2,391,727	1,538,519		2,453,886

2024 年度差引残高 2,472,394 - 1,538,519=933,875

資料 4

年会費に関する内規 改正案

(目的)

第 1 条 本内規は、筑後小児科医会(以下「本会」という)会則第 7 条、第 8、第 9 条の規定に基づき、当会の年会費について定める。

(年会費)

第 2 条 本会の会計年度は、4 月 1 日から 3 月 31 日までとし、会員は別に定められた年会費を、年度内に支払うものとする。

2 会員は、会則第 7 条に基づき、所定の申込みを会長に提出し、常任幹事会の承認を得、会費を納入した者とする。

3 同一の施設に従事する会員が複数名いる場合には、~~会員区分による規定の 1 名分の~~年会費を支払うものとする。

4 会員は、本会会則第 9 条に基づき、満 80 歳になる年度を最後に、次年度から年会費が免除される。

5 会員は、入会退会の時期にかかわらず、その年度の年会費を支払うものとする。

付則 1 ~~会員区分を以下のように規定する。~~

~~A 会員（開業医）~~

~~※病院以外の診療所には、A 会員が必ず 1 名在籍すること~~

~~B 会員（開業同一施設の 2 人目以降の医師・病院勤務医・
その他の医師）~~

~~S 会員（会費免除会員）~~

付則 2 ~~会費は以下のように規定する~~

~~A 会員：年間 2 万円~~

~~B 会員：年間 5 千円~~

~~会員の会費は、年間 1 万円とする~~

~~(平成 30 年 4 月 1 日現在)~~

付則 3 会長は、情報交換および会の運営上の助言を目的として、会員外から、会務(常任幹事会、全役員会、総会)、協力者の出席・発言を要請することが出来る。

- ~~(平成 30 年 4 月 24 日 全役員会にて承認)~~
(令和 7 年 4 月 25 日全役員会で承認)

1. 会費の見直しについて

数年前から常任幹事会で会費の見直しを行ってはどうかという意見が出ていたが、新型コロナウイルス感染症の流行で一時期活動が停滞したこともあり、財政上の危機も感じられなかったため、保留となっていた。現在は筑後小児科医会セミナーも通常に行うことができるようになり、共催なしの単独開催も考慮すると支出が増えること、今後さらに学術活動に力を入れていくために、会費の再検討を行った。

1) シミュレーションを行った結果、今後、新入会員がいないと仮定した場合、2029年に会費を支払う会員(80歳未満)が60人台に減少し、少しの会費値上げでは2030年に収支がマイナスになることが予想された。

2) 現在、筑後小児科医会の会費は1万円で20年以上同じ金額のままとなっており、県内他地区の小児科医会に比べても会費は高くない。

福岡地区 3万円(会員種別によって差異無し+入会金3万円)、

北九州地区 2万7千円

宗像 1万2千円(H21年度まで3万6千円)

筑豊 7千円

3) 今後、現在と同じ活動をしていくためには、支出を減らすことも重要であるが現時点で無駄な支出はなく、会費の増額について慎重に検討を行った結果、1万8千円以上でないと健全な運営は見込めない結果となった。現在も郵便料金の値上げや各種料金の上昇、物価上昇を考慮すると安心して会の運営に当たるには年会費2万円が妥当であると考えられる。

2. 会員区分の見直しについて

1) 会費の増額に合わせ、会員区分の見直しを行った。

2) 会員数を増やすため、小児を診療している内科医の先生や病院勤務医の先生方にも入会していただきたい。入会に際し、福岡県小児科医会および九州小児科医会への入会が必須となっていたが、それらの先生方の入会のハードルになる可能性があり、選択制とすることを検討したい。

筑後小児科医会 会長 長井健祐